

第17回レファレンス協同データベース事業フォーラム 開催要項

1 趣旨及びテーマ

レファレンス協同データベース（以下「レファ協」という。）事業に関する意見交換の場を設け、参加館相互の連携協力を促進するとともに、事業の更なる普及・発展に資するため、標記フォーラムを開催します。

今回は「“続けること”が生み出すもの—継続的なデータ登録の工夫を探る—」をテーマに、データを蓄積・共有することの意義について理解を深めるとともに、継続的にデータを登録するための方法等について情報を共有することにより、参加館の積極的なデータ登録・公開につなげることを目指します。

2 開催日時及び開催方法

令和4年3月3日（木） 13:00 から 16:30 まで

Web 会議システム（Webex Events）を使用して国立国会図書館関西館及び登壇者の職場等からオンライン中継します。

3 参加対象・定員

レファ協事業及び本フォーラムに関心のある図書館員の方、その他一般の方。定員は900名。

4 プログラム

時間	内容	登壇者
13:00～13:05	開会挨拶(5分)	国立国会図書館関西館長 木藤 淳子
13:05～13:10	趣旨説明(5分)	国立国会図書館関西館図書館協力課課長補佐 加藤 祐平
13:10～13:50	オープニングスピーチ「続けていることで生まれ出てくるもの」(40分)	ウィキペディア編集者 日下 九八
13:50～14:00	休憩(10分)	
14:00～14:20	参加館報告1: 関西大学図書館(20分)	関西大学図書館 徳田 恵里
14:20～14:40	参加館報告2: 伊丹市立図書館本館「ことば蔵」(20分)	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」 上田 茜
14:40～15:00	参加館報告3: 小野市立図書館(20分)	小野市立図書館 生友 えり
15:00～15:20	事務局報告「レファ協のここがよいところ&登録～公開のポイント」(20分)	国立国会図書館関西館図書館協力課協力ネットワーク係
15:20～15:35	休憩(15分)	
15:35～16:25	フリートーク(50分)	参加館報告者 コーディネーター: レファ協事業企画協力員・埼玉県立熊谷図書館 小熊 ますみ
16:25～16:30	閉会挨拶(5分)	国立国会図書館関西館図書館協力課長 小坂 昌

※フォーラム終了後、参加者同士の交流を図るため、1時間程度の交流会を行います。

5 報告内容等の利用について

フォーラムの様子を録画し、終了後に当館の YouTube 公式チャンネルで公開します。また、記録を作成し、レファ協事業ホームページに掲載します。

プログラムの詳細

◆オープニングスピーチ「続けていることで生まれ出てくるもの」

日下九八（くさかきゅうはち）氏（ウィキペディア編集者）

日下氏は、データベースに情報を蓄積し社会に共有している事業の一つであるウィキペディアに、編集者や管理者の立場で長く関わってこられました。同氏から、どのような思いを持ってプロジェクトに携わり、継続的な取組を続けてきたのか、また、ウィキペディアにおける「情報の蓄積・共有」はどのようになされているか、レファ協との共通点や相違点等についてお話しいただき、レファ協での継続的なデータ登録の意義について考えます。

◆参加館報告

本事業に参加する様々な館種の機関のうち、近年継続的にデータ登録・公開に取り組んでいる3つの機関の担当者に、事業への参加・登録活発化のきっかけ、運用が安定化するまでの過程や、レファ協でのレファレンス記録の登録・公開のモチベーション等を中心にご報告いただきます。

報告館：

◇関西大学図書館 徳田恵里（とくだえり）氏

◇伊丹市立図書館本館「ことば蔵」 上田茜（うへだあかね）氏

◇小野市立図書館 生友えり（いくともえり）氏

●フリートーク

コーディネーター：

小熊ますみ（おぐまますみ）氏（レファ協事業企画協力員、埼玉県立熊谷図書館）

コーディネーターの進行により、参加館報告者とともに、継続的にデータ登録を行うための工夫について、参加者から寄せられた質問も取り上げつつ、幅広く意見交換を行います。